

「家がいいね」 第62号

いせ在宅医療クリニック 広報月刊紙

2009. 7. 13

待つこと

タイミング、間、間合い、この世の中には不思議な時間が流れている事に、本当にまれに遭遇します。普段は、列車の時刻のように、約束の時刻のように、何の違和感もなく、当然に噛み合っていて流れているのですが。人生の最期を見送る時間や、子供の成長を見守る時間は、スケジュールを決めるようにはゆかないと思います。これが思い通りに行かないと焦る人は、人間の根幹の感情が揺さ振られるからこそ焦ると思わないのでしょうか。病院を離れて7年、待つ事が意味ある大切な事だと、ようやく私も思えるようになりました。



待ってもむだな
ことがある
待ってもだめな
こともある
待ってむなしき
ことばかり
それでもわたしは
じっと待つ

どう見られているか気になる人へ

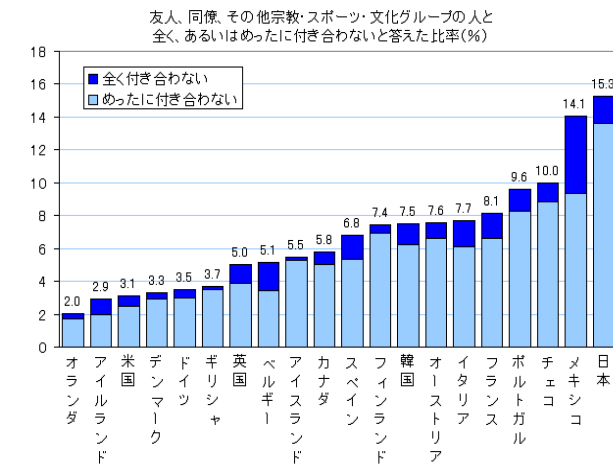
相手の目に、自分がどう映っているか、それがひたすら心配な方の相談は危ういものです。心配が、自分が出来ていない事へと向くものですから、足元を一生懸命掘り返すようなものです。不安が不安を呼び、本来の落ち着きが失われてゆきます。6月7日に、児童精神科医の佐々木正美先生の講演を聴いてハッと思いました。



乳児の6ヶ月から1歳半ぐらいまでの間に、保護者の見守りの視線を受ける児は安定した生活態度で成長を示すが、受けられない児は「見捨てられる不安」を発達の基礎に持つらしいのです。失敗してもそれを糧に育つ児は前者であり、失敗のたび不適応で苦しむ児は後者であるらしい。

今や世界の中で、日本人が最も社会的孤立度が高いと言われるのは衝撃です。(OECD調査)

社会的孤立の状況(OECD諸国の比較)



(注) 原資料は世界価値観調査1999-2002。英国はグレートブリテンのみ。
(資料) Society at a Glance: OECD Social Indicators - 2005 Edition

子供は大人の鏡です。大人同士が孤立を解き、子供を十分に保護する事が大切です。先生は子供を悪くするのは、過剰保護ではなく過剰期待だと言われます。追い詰めるのは大人側の責任です。

「終わりをければ」いせの会のお知らせ

8月23日(日) 13時半~16時半 無料
観光文化会館4階 大会議室 シンポジウム
「皆で書いてみよう 私のエンディングノート」
基調講演 野原すみれさん(介護エッセイスト)

夏季の臨時休業です

8月12日(水) 通常どおり開院
8月13日(木) 定期 休院
8月14日(金) 臨時 休院
8月15日(土) 臨時 休院
8月16日(日) 定期 休院
8月17日(月) 通常どおり開院



自宅での人生を
最期まで支援します

〒516-0805
三重県伊勢市御園町高向 927
電話 0596-20-8104
ファクス 0596-20-8105
mail homecare@kr.tcp-ip.or.jp
<http://www.tcp-ip.or.jp/~takuro>